



平成30年11月13日

各 位

会 社 名 東邦金属株式会社
代表者名 代表取締役社長 小樋 誠二
(コード：5781、東証第二部)
問合せ先 取締役総務部長 森本 幾雄
(TEL. 06-6202-3376)

(訂正)「平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)」の一部訂正について

当社は、平成27年10月29日に発表した「平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)」について訂正がありましたのでお知らせします。

記

1. 訂正内容と理由

訂正内容と理由につきましては、別途、本日(平成30年11月13日)付「過年度の決算短信等の一部訂正に関するお知らせ」にて開示しておりますのでご参照ください。

2. 訂正箇所

訂正箇所が多数に及ぶため、訂正後および訂正前の全文をそれぞれ添付し、訂正箇所には下線を付して表示しております。

以 上

(訂正後)



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成27年10月29日

上場会社名 東邦金属株式会社 上場取引所 東
コード番号 5781 URL <http://www.tohokinzoku.co.jp>
代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)三喜田 浩
問合せ先責任者 (役職名)総務部部长 (氏名)山下 泰之 TEL 06-6202-3376
四半期報告書提出予定日 平成27年11月12日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	1,750	0.4	△26	—	54	—	51	—
27年3月期第2四半期	1,743	△3.0	12	△12.5	△140	—	△143	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	2.20	—
27年3月期第2四半期	△6.19	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第2四半期	4,238	1,945	45.9
27年3月期	4,401	1,913	43.5

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 1,945百万円 27年3月期 1,913百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	—	—	0.00	0.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,550	2.3	56	102.4	50	166.3	40	—	1.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	28年3月期2Q	23,380,012株	27年3月期	23,380,012株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	182,849株	27年3月期	181,498株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	28年3月期2Q	23,197,751株	27年3月期2Q	23,201,373株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間(平成27年4月1日～平成27年9月30日)におけるわが国経済は、政府の経済政策や日銀の金融緩和策を背景に輸出企業を中心とした企業業績の回復や雇用環境に改善がみられ、景気は緩やかな回復基調を続けておりましたが、中国をはじめとする新興国経済の減速に加えて、米国の利上観測に伴う米ドル高への警戒感から為替変動、国際商品価格の下落、世界同時株安が起こる等、日本経済を取り巻く環境は不透明感を増してきております。

このような状況下、当社は安定した利益の確保を最重要課題に掲げ、売上高の確保及び材料歩留改善、生産性改善、購入価格低減、固定費削減などの原価低減活動に注力しました。

売上高は、1,750百万円(前年同四半期 1,743百万円)となりました。

損益面は、鋭意、原価低減活動に努めましたが、営業損失26百万円(前年同四半期 営業利益12百万円)、経常利益は、過年度に回収懸念債権に対して引き当てていた貸倒引当金戻入額78百万円により54百万円(前年同四半期 経常損失140百万円)、四半期純利益51百万円(前年同四半期 四半期純損失143百万円)となりました。

セグメント区分別の状況は、次のとおりであります。

(電気・電子)

タングステン・モリブデン製品は、モリブデン製品の減少に対し、タングステン製品の拡販により、売上高は880百万円(前年同四半期 865百万円)となりました。

合金及び電気・電子部品は、光通信用製品の拡販により、売上高は270百万円(前年同四半期 246百万円)となりました。

その他製品は、自動車部品メーカーへの部品販売の減少により、売上高は373百万円(前年同四半期 437百万円)となりました。

この結果、電気・電子合計の売上高は1,525百万円(前年同四半期 1,548百万円)となり、営業損失30百万円(前年同四半期 営業利益5百万円)となりました。

(超硬合金)

超硬合金は堅調に推移し、売上高は225百万円(前年同四半期 195百万円)となり、営業利益は3百万円(前年同四半期 7百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第2四半期会計期間末における流動資産は2,412百万円(前事業年度末 2,460百万円)となり、47百万円減少しました。主たる要因は、たな卸資産34百万円の減少によるものであります。

(固定資産)

当第2四半期会計期間末における固定資産は1,826百万円(前事業年度末 1,941百万円)となり、114百万円減少しました。主たる要因は、投資有価証券27百万円の減少、投資その他の資産のその他174百万円の減少、貸倒引当金78百万円の減少によるものであります。

(流動負債)

当第2四半期会計期間末における流動負債は1,179百万円(前事業年度末 1,654百万円)となり、475百万円減少しました。主たる要因は、短期借入金436百万円の減少によるものであります。

(固定負債)

当第2四半期会計期間末における固定負債は1,113百万円(前事業年度末 833百万円)となり、280百万円増加しました。主たる要因は長期借入金287百万円の増加によるものであります。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産は1,945百万円(前事業年度末 1,913百万円)となり、32百万円増加しました。主たる要因は、四半期純利益51百万円及び評価・換算差額等18百万円の減少によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の業績予想につきましては、平成27年5月14日に発表いたしました業績予想の数値から変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	344,188	325,608
受取手形及び売掛金	1,015,684	1,018,466
商品及び製品	107,783	114,012
仕掛品	628,115	635,990
原材料及び貯蔵品	342,362	293,828
その他	30,737	33,710
貸倒引当金	<u>△8,745</u>	<u>△9,276</u>
流動資産合計	<u>2,460,127</u>	<u>2,412,341</u>
固定資産		
有形固定資産		
土地	782,785	782,785
その他(純額)	379,501	383,059
有形固定資産合計	<u>1,162,287</u>	<u>1,165,845</u>
無形固定資産		
投資その他の資産	14,679	19,291
投資有価証券		
投資有価証券	499,618	472,128
その他	<u>424,395</u>	<u>250,352</u>
貸倒引当金	<u>△159,825</u>	<u>△81,195</u>
投資その他の資産合計	<u>764,188</u>	<u>641,284</u>
固定資産合計	<u>1,941,155</u>	<u>1,826,421</u>
資産合計	<u>4,401,282</u>	<u>4,238,762</u>
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	405,209	421,358
短期借入金	953,652	517,552
未払法人税等	13,267	10,469
賞与引当金	48,721	51,269
その他	233,661	178,481
流動負債合計	<u>1,654,510</u>	<u>1,179,130</u>
固定負債		
長期借入金	333,241	620,715
退職給付引当金	276,353	285,145
役員退職慰労引当金	49,865	55,415
環境対策引当金	14,512	14,512
その他	159,797	138,032
固定負債合計	<u>833,769</u>	<u>1,113,820</u>
負債合計	<u>2,488,280</u>	<u>2,292,951</u>

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成27年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,531,828	2,531,828
資本剰余金	237,794	237,794
利益剰余金	<u>△1,081,750</u>	<u>△1,030,721</u>
自己株式	△26,260	△26,468
株主資本合計	<u>1,661,612</u>	<u>1,712,434</u>
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	251,389	233,377
評価・換算差額等合計	251,389	233,377
純資産合計	<u>1,913,001</u>	<u>1,945,811</u>
負債純資産合計	<u>4,401,282</u>	<u>4,238,762</u>

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	1,743,865	1,750,531
売上原価	1,474,806	1,514,166
売上総利益	269,058	236,365
販売費及び一般管理費		
従業員給料及び手当	92,172	94,632
賞与引当金繰入額	11,689	12,797
役員退職慰労引当金繰入額	5,350	5,550
退職給付費用	9,747	9,885
減価償却費	9,652	10,597
貸倒引当金繰入額	1,474	534
その他の一般管理費	126,009	128,653
販売費及び一般管理費合計	256,094	262,651
営業利益又は営業損失(△)	12,963	△26,285
営業外収益		
貸倒引当金戻入額	-	78,632
受取保険金	9,154	-
その他	17,608	11,104
営業外収益合計	26,762	89,736
営業外費用		
支払利息	10,561	8,029
貸倒引当金繰入額	163,125	-
その他	6,886	882
営業外費用合計	180,573	8,911
経常利益又は経常損失(△)	△140,846	54,539
特別利益		
固定資産売却益	1,093	-
特別利益合計	1,093	-
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△139,753	54,539
法人税、住民税及び事業税	4,093	3,603
法人税等調整額	△118	△93
法人税等合計	3,974	3,510
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△143,728	51,029

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(訂正前)



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成27年10月29日

上場会社名 東邦金属株式会社 上場取引所 東
コード番号 5781 URL <http://www.tohokinzoku.co.jp>
代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)三喜田 浩
問合せ先責任者 (役職名)総務部部长 (氏名)山下 泰之 TEL 06-6202-3376
四半期報告書提出予定日 平成27年11月12日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	1,763	△12.4	△11	—	△9	—	△13	—
27年3月期第2四半期	2,012	12.0	33	127.5	42	110.0	40	135.7

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	△0.56	—
27年3月期第2四半期	1.73	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第2四半期	4,375	2,082	47.6
27年3月期	4,602	2,114	45.9

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 2,082百万円 27年3月期 2,114百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	—	—	0.00	0.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,550	△5.7	56	△23.2	50	△47.7	40	△44.8	1.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	28年3月期2Q	23,380,012株	27年3月期	23,380,012株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	182,849株	27年3月期	181,498株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	28年3月期2Q	23,197,751株	27年3月期2Q	23,201,373株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間(平成27年4月1日～平成27年9月30日)におけるわが国経済は、政府の経済政策や日銀の金融緩和策を背景に輸出企業を中心とした企業業績の回復や雇用環境に改善がみられ、景気は緩やかな回復基調を続けておりましたが、中国をはじめとする新興国経済の減速に加えて、米国の利上観測に伴う米ドル高への警戒感から為替変動、国際商品価格の下落、世界同時株安が起こる等、日本経済を取り巻く環境は不透明感を増してきております。

このような状況下、当社は安定した利益の確保を最重要課題に掲げ、売上高の確保及び材料歩留改善、生産性改善、購入価格低減、固定費削減などの原価低減活動に注力しましたが、太陽光パネル等の製造方法の変革にともなう消耗資材の販売減少や、自動車部品メーカーの在庫調整による部品販売の減少により、売上高は、前年同四半期 2,012百万円に対し12.4%減の1,763百万円となりました。

損益面は、鋭意、原価低減活動に努めましたが売上の減少を吸収することができず、営業損失11百万円(前年同四半期 営業利益33百万円)、経常損失9百万円(前年同四半期 経常利益42百万円)、四半期純損失13百万円(前年同四半期 四半期純利益40百万円)となりました。

セグメント区分別の状況は、次のとおりであります。

(電気・電子)

タングステン・モリブデン製品は、モリブデン製品の減少に対し、タングステン製品の拡販により、売上高は880百万円(前年同四半期 865百万円)となりました。

合金及び電気・電子部品は、光通信用製品の拡販により、売上高は270百万円(前年同四半期 246百万円)となりました。

その他製品は、太陽光パネル用の消耗資材販売の減少及び自動車部品メーカーへの部品販売の減少により、売上高は386百万円(前年同四半期 705百万円)と大幅減少となりました。

この結果、電気・電子合計の売上高は1,538百万円(前年同四半期 1,817百万円)となり、営業損失15百万円(前年同四半期 営業利益26百万円)となりました。

(超硬合金)

超硬合金は堅調に推移し、売上高は225百万円(前年同四半期 195百万円)となり、営業利益は3百万円(前年同四半期 7百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第2四半期会計期間末における流動資産は2,579百万円(前事業年度末 2,792百万円)となり、213百万円減少しました。主たる要因は、受取手形及び売掛金164百万円の減少及びたな卸資産34百万円の減少によるものであります。

(固定資産)

当第2四半期会計期間末における固定資産は1,796百万円(前事業年度末 1,809百万円)となり、13百万円減少しました。主たる要因は、投資有価証券27百万円の減少によるものであります。

(流動負債)

当第2四半期会計期間末における流動負債は1,179百万円(前事業年度末 1,654百万円)となり、475百万円減少しました。主たる要因は、短期借入金436百万円の減少によるものであります。

(固定負債)

当第2四半期会計期間末における固定負債は1,113百万円(前事業年度末 833百万円)となり、280百万円増加しました。主たる要因は、長期借入金287百万円の増加によるものであります。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産は2,082百万円(前事業年度末 2,114百万円)となり、31百万円減少しました。主たる要因は、四半期純損失13百万円及び評価・換算差額等18百万円の減少によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の業績予想につきましては、平成27年5月14日に発表いたしました業績予想の数値から変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	344,188	325,608
受取手形及び売掛金	1,351,169	1,186,706
商品及び製品	107,783	114,012
仕掛品	628,115	635,990
原材料及び貯蔵品	342,362	293,828
その他	30,737	33,710
貸倒引当金	△11,495	△10,448
流動資産合計	2,792,862	2,579,408
固定資産		
有形固定資産		
土地	782,785	782,785
その他(純額)	379,501	383,059
有形固定資産合計	1,162,287	1,165,845
無形固定資産		
投資その他の資産	14,679	19,291
投資有価証券	499,618	472,128
その他	144,909	151,074
貸倒引当金	△12,055	△12,051
投資その他の資産合計	632,472	611,151
固定資産合計	1,809,440	1,796,287
資産合計	4,602,302	4,375,696
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	405,209	421,358
短期借入金	953,652	517,552
未払法人税等	13,267	10,469
賞与引当金	48,721	51,269
その他	233,661	178,481
流動負債合計	1,654,510	1,179,130
固定負債		
長期借入金	333,241	620,715
退職給付引当金	276,353	285,145
役員退職慰労引当金	49,865	55,415
環境対策引当金	14,512	14,512
その他	159,797	138,032
固定負債合計	833,769	1,113,820
負債合計	2,488,280	2,292,951

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成27年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,531,828	2,531,828
資本剰余金	237,794	237,794
利益剰余金	△880,729	△893,787
自己株式	△26,260	△26,468
株主資本合計	1,862,633	1,849,368
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	251,389	233,377
評価・換算差額等合計	251,389	233,377
純資産合計	2,114,022	2,082,745
負債純資産合計	4,602,302	4,375,696

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	2,012,315	1,763,492
売上原価	1,720,856	1,514,166
売上総利益	291,458	249,326
販売費及び一般管理費		
従業員給料及び手当	92,172	94,632
賞与引当金繰入額	11,689	12,797
役員退職慰労引当金繰入額	5,350	5,550
退職給付費用	9,747	9,885
減価償却費	9,652	10,597
貸倒引当金繰入額	3,150	△1,041
その他の一般管理費	126,009	128,653
販売費及び一般管理費合計	257,770	261,076
営業利益又は営業損失(△)	33,687	△11,749
営業外収益		
受取利息及び配当金	8,241	8,942
受取保険金	9,154	-
その他	9,366	2,171
営業外収益合計	26,762	11,114
営業外費用		
支払利息	10,561	8,029
その他	6,907	882
営業外費用合計	17,469	8,911
経常利益又は経常損失(△)	42,981	△9,546
特別利益		
固定資産売却益	1,093	-
特別利益合計	1,093	-
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	44,074	△9,546
法人税、住民税及び事業税	4,093	3,603
法人税等調整額	△118	△93
法人税等合計	3,974	3,510
四半期純利益又は四半期純損失(△)	40,100	△13,057

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。